

今号の主な内容	
2面	国民健康保険 保険証の更新・特別納付相談
5面	認知症になっても安心して暮らせるまち
7面	子宮頸がん予防ワクチンの接種再開について
8面	夏休み 子どもを犯罪から守りましょう
8面	四季を彩る伊那の花

広報しんじゅく

「新宿力」で創造する、
やすらぎとにぎわいのまち

平成23年(2011年)

7・25

第2002号



しんじゅくコール
☎(3209)9999 ☎(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ ☎ http://www.city.shinjuku.lg.jp/
携帯電話版 ☎ http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/



携帯電話用二次元コード

早期発見・早期治療が大切 がん検診を受けましょう

日ごろから、がんに対する知識を深めることは、がんを予防する上で大切なことです。がんは初期症状がほとんどなく、症状が現れたときには、命にかかわるほど進行しているということも少なくありません。定期的にかん検診を受けることで、症状のないうちにがんを発見する

ことができます。また、医療の進歩でさまざまな治療方法が開発され、がんは適切な治療を受けることで克服できます。

区が実施するがん検診を、定期的に受診しましょう。

【問合せ】健康推進課健診係(第2分庁舎分館1階) ☎(5273)4207へ。

検診が有効とされる 5つのがん

検診の対象は、区内の医療機関で受診する場合

※区民健康センターでは、20歳以上の方を対象に胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん検診を実施しています(7面「保健だより」参照)。

乳がん

日本人女性の20人に1人がかかるといわれています。早期発見のため、マンモグラフィ検査を受けることが重要です。
【検診の対象】40歳以上で偶数年齢の女性
【検診方法】問診・視診・触診・マンモグラフィ検査(専用の装置でX線撮影)

肺がん

日本人男性がかかるがんの中で、最も亡くなる方が多いがんです。喫煙が大きく関係していますが、喫煙しない方がかかることもあります。
【検診の対象】40歳以上
【検診方法】問診・胸部X線直接撮影・痰の検査

胃がん

日本人男性がかかるがんの中で、最もかかる方が多いがんです。塩分を多く摂取する日本の食生活と関係しています。
【検診の対象】35歳以上
【検診方法】問診・バリウム投与によるX線直接撮影

子宮頸がん・子宮体がん

がんができる部分で子宮頸がんと子宮体がんに分かれます。子宮頸がんは、20代～30代の若い世代に急増しています。
【検診の対象】20歳以上で偶数年齢の女性
【検診方法】問診・視診・細胞診・内診

がん部位別 死亡順位(新宿区)		
	男性	女性
1位	肺	大腸
2位	胃	肺
3位	大腸	胃
4位	肝臓	乳
5位	すい臓	肝臓

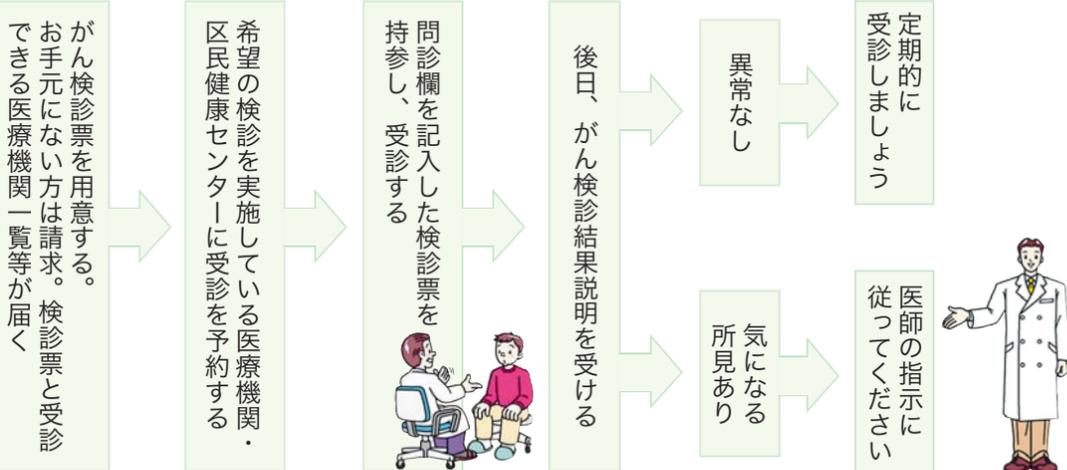
大腸がん

肉類を多く食べるなど、食生活の欧米化に伴い、近年、男女ともに多くの方がかかっています。
【検診の対象】35歳以上
【検診方法】問診・便潜血反応検査(2日法)

がん検診受診の流れ

区内在住の方を対象に、区内の医療機関・区民健康センターで実施しています。右図を参考に、定期的に受診しましょう。

【検診票の請求】受診には検診票が必要です。お手元がない方は、電話で健康推進課健診係 ☎(5273)4207へ請求してください。インターネットの電子申請(新宿区ホームページからリンク)や、区のがん検診案内リーフレットに付いているはがきでも申し込めます。リーフレットは健康推進課・保健センター・区民健康センター(新宿7-26-4)等で配布しています。
※区民健康センターでのがん検診は、電話で同センター ☎(3208)2222へ予約してください。



8月の番組
「住んでよ、訪ねてよ」四谷
四谷の歴史・文化、観光スポット、「四谷ひろば」の自治活動等を、中山区長がまちを歩いて紹介します。
●放送時間(15分番組)
8月1日(月)～31日(水)、毎日3回、同じ時間に放送します(いずれも11チャンネル)。
◎東京ケーブルビジョン…午後0時30分～8時30分・11時から
◎JCNみなと新宿…午後0時30分～4時・11時から
【問合せ】広報番組について…区政情報課広報係(本庁舎3階) ☎(5273)4064、ケーブルテレビの受信について…東京ケーブルビジョン ☎(0120)591225、JCNみなと新宿 ☎(0120)037109へ。

ケーブルテレビの新宿区広報番組 こんにちは新宿区長です!



区指定有形民俗文化財 太宗寺の「えんま像」

四谷地域で復活に取り組んでいる「内藤とうがらし」